

## 県からの意見等による2020年度専攻医シーリングの見直し内容

＜ポイント＞ 県からの意見等により、地域枠医師及び自治医大卒業医師をシーリング枠外で取り扱うことが可能とされた。また、シーリング当初案では、過去2年採用実績（多い方の年）との比較で計23人の削減となっていたところ、計10人の削減にまで緩和された。

### 見直し内容

- ①地域枠医師及び自治医大卒業医師は、シーリング枠外での取り扱いを可能とする。（本県の意見どおり）
- ②過去2年採用数のいずれかが10未満である診療科については、シーリング数を過去2年採用数のうち大きい方の数値とする。また、過去2年の採用数が極めて少ない（5未満）診療科はシーリング対象外とする。  
（本県意見）医師不足地域との連携プログラムの場合は、過去2年のうち多い方の採用数までシーリングを緩和する。
- ③地域貢献率（連携プログラムを設定するための前提条件：20%）の算出にあたっては、シーリング対象外の都道府県での研修期間に加え、県内の医師少数区域での研修期間も考慮する。  
（本県意見）県内やシーリング対象県の医師不足地域への派遣も、連携プログラムでの算定を可能とすること。

### 【当初案】（R元.5.14 医道審議会 医師分科会 医師専門研修部会）

	内科	小児科	精神科	耳鼻 咽喉科	脳神経 外科	放射線科	麻酔科	形成外科	リハ ビリ科
シーリング数 ※1	56	9	10	5	8	6	16	5	5
連携プログラム数 ※2	5	1	1	0	1	1	2	0	0
うち都道府県限定分 ※3	0	0	0	0	0	0	1	0	0
小計（A）	<b>61</b>	<b>10</b>	<b>11</b>	<b>5</b>	<b>9</b>	<b>7</b>	<b>18</b>	<b>5</b>	<b>5</b>

※1 過去の採用実績に基づき算出された定員（シーリング）

※2 シーリング対象外の都道府県の施設において50%以上の専門研修を行える場合に募集可能

※3 充足率が0.8以下の都道府県の施設において50%以上の専門研修を行える場合に募集可能

2018年度専攻医採用数	66	7	11	2	14	9	21	4	1
2019年度専攻医採用数	61	14	13	7	4	6	18	5	0
過去2年のうち多い方の採用数（B）	66	14	13	7	14	9	21	5	1
シーリングによる削減数（B-A）	<b>5</b>	<b>4</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>5</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

計23



県からの意見等による見直し  
（シーリング緩和）

### 【見直し後】（R元.9.24 日本専門医機構）

	内科	小児科	精神科	耳鼻 咽喉科	脳神経 外科	放射線科	麻酔科	形成外科	リハ ビリ科
見直し後シーリング数（A'） （括弧は連携プログラム数(内数)）	<b>61(5)</b>	<b>14</b>	<b>11(1)</b>	<b>7</b>	<b>14</b>	<b>9</b>	<b>18(2)</b>	<b>(対象外)</b>	<b>(対象外)</b>
見直し後シーリングによる削減数 （B-A'）	<b>5</b>	<b>0</b>	<b>2</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>3</b>	<b>-</b>	<b>-</b>
(参考) 当初案からの緩和（A'-A）	0	4	0	2	5	2	0	-	-

計10

(参考)